

新人看護師教育計画

	到達目標	研修	部署支援体制	部署の教育評価
4月	<ul style="list-style-type: none"> * 病院、看護部の概要を知り、社会人としての自覚を持つ * 集合研修により看護技術を学び、臨床での看護実践の準備をする * 日勤業務の流れが理解できる * 自己の健康管理が出来る * 自己の目標を設定できる(1年後の自己の姿) 	<ul style="list-style-type: none"> ・新採用者研修 ・看護技術研修 (採血・注射・吸引・経管栄養・排泄・移乗・輸液ポンプ) ・オーダーリングシステム ・社会人としての生活の整え方 ・医療安全研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・実地指導者(先輩スタッフ)と行動を共にする ・下旬には1名の患者を受け持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・1ヶ月後評価 (到達目標に沿って評価する) ・看護師長面談 (・体調について・生活リズム・自己学習・プリセプターとの関係性)
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・職場に慣れ、指導の下、基本的な看護が実践できる (日常生活援助・基本的看護技術・コミュニケーション技術) ・実施した看護について、報告、相談できる ・患者の誤認防止が出来る ・患者の療養環境を安全、安楽に整えることができる (転倒、転落防止) 	<ul style="list-style-type: none"> ・フィジカルアセスメント * 正しく患者の状態を観察して表現できる。 (他者に伝えることができる) ・医療安全研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・実地指導者が必ずフォローする ・実地指導者への報告・相談 ・実地指導者の確認を受ける ・患者受け持ちは、前半2名～後半4名とする 	<ul style="list-style-type: none"> ・2ヶ月後評価 (到達目標評価に加えて、新人が自分でわからないことを実地指導者に聞いているか？新人の生活面についても情報共有する)
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・夜勤に必要な看護技術がわかる。 (実践は一部先輩看護師の支援、確認が必要) 	<ul style="list-style-type: none"> ・BLS研修 ・メンタルヘルスについて ・リフレッシュ研修 ・医療安全研修 		<ul style="list-style-type: none"> ・3ヶ月後評価 (看護技術チェック・夜勤開始に向けて、生活の整え方について)
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・各部署で必要な看護実践ができる。 (初めての実践項目によっては先輩看護師の支援が必要) 	<ul style="list-style-type: none"> ・多重課題シミュレーション研修 ・医療安全研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・日勤業務は実地指導者のフォロー無し (各部署の状況に応じる) ・リーダーへの報告・相談 ・リーダーの確認を受ける ・患者受け持ちは、4～6名までとする 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育担当者との面談 (3ヶ月技術チェックの結果、夜勤実施しての評価、日勤の自立が可能か)
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・優先順位を考えた看護の提供ができる 			
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・人工呼吸器装着患者の看護 ・病棟間交流研修(12月までの期間で調整) ・医療安全研修 		<ul style="list-style-type: none"> ・6ヶ月後評価 ・看護師長面談

10月	・助言を受けながら受け持ち看護師としての役割・看護チームの一員として行動できる ・他部門とのコミュニケーションがとれる	・WOCNsによる『褥瘡予防、処置の基本』 ・医療安全研修	・日勤ひとり立ち 部署の教育計画に基づいて受け持ち患者の重症度を検討する	
11月		・検査科による『心電図検査』 ・医療安全研修		
12月		・医療安全研修		
1月		・患者を多角的に捉える ・医療安全研修		
2月		・退院支援について ・メンバーシップ ・医療安全研修		
3月		・一年を振り返って 目標評価		・看護師長面談

集合研修に基づいたOJTの実施

* 各部署毎に委員会のメンバーが新人指導する

- ・看護記録、看護必要度に関する事項・・・看護記録委員
- ・感染に関する事項・・・リンクナース
- ・褥瘡に関する事項・・・褥瘡対策チームメンバー
- ・NSTに関する事項・・・NST委員
- ・退院支援に関する事項・・・地域連携ナース